

政策分析シート（令和2年度）

政策名	良好で快適な生活環境の形成	政策No	08	部名	防災都市づくり部		
				部長名	松土	内線	2800
関連部名	環境清掃部						
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					

目的 住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		29年度	30年度	元年度	
①	生活環境の充実	3.19	3.23	3.23	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？
②	まちなみの良さ	2.95	2.98	3.02	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
③	周辺環境の快適さ	3.02	3.06	3.06	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
④					
⑤					
⑥					
⑦					

指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
①	公園・児童遊園面積 (ha)	43.3	43.3	43.1	43.8	48.0	
②	住みよいく感じる人の割合 (%)	91	91	92	92	95	区政世論調査
③	細街路後退用地整備率 (%)	43	45	51	53	67	整備延長／整備対象道路延長両側(自主整備含む)
④							
⑤							
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	414,427	391,152	▲ 23,275	地方税等	0	0	0	
	物件費	736,261	833,925	97,664	国庫支出金	27,074	44,622	17,548	
	維持補修費	404,226	380,695	▲ 23,531	都支出金	43,196	65,439	22,243	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	77,041	98,328	21,287	使用料及び手数料	829,946	934,559	104,613	
	減価償却費	344,266	347,400	3,134	その他行政収入	106,765	153,902	47,137	
	不納欠損・賞引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,006,981	1,198,522	191,541	
	賞与・退職給与引当金繰入額	28,077	37,702	9,625	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,346,219	▲ 1,294,373	51,846	
	その他行政費用	348,902	403,693	54,791	金融収支差額(d)	▲ 2,673	▲ 2,075	598	
	行政費用合計(b)	2,353,200	2,492,895	139,695	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,348,892	▲ 1,296,448	52,444	
	特別費用(g)	2,640	503	▲ 2,137	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 2,640	▲ 503	2,137	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,351,532	▲ 1,296,951	54,581		
貸借対照表	勘定科目				勘定科目				
	30年度	元年度	差額	30年度	元年度	差額			
	流動資産			流動負債					
	収入未済	23,812	21,585	▲ 2,227	還付未済金	0	0		
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	24,183	26,315		
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	21,174	2,855		
	有形固定資産	223,034,237	224,980,083	1,945,846	その他の流動負債	0	0		
	土地	205,887,832	207,333,464	1,445,632	固定負債	425,179	143,682		
	建物	6,796,302	7,239,552	443,250	特別区債	142,911	116,596		
	建物減価償却累計額	▲ 3,282,904	▲ 3,439,508	▲ 156,604	退職給与引当金	282,268	27,086		
	工作物等	19,131,413	19,534,449	403,036	その他の固定負債	0	0		
工作物等減価償却累計額	▲ 5,498,406	▲ 5,687,874	▲ 189,468	負債の部合計	470,536	172,852			
無形固定資産	0	0	0	正味財産	222,900,390	225,015,869			
建設仮勘定	302,660	174,204	▲ 128,456	正味財産の部合計	222,900,390	225,015,869			
その他の固定資産	10,217	12,849	2,632	負債及び正味財産の部合計	223,370,926	225,188,721			
資産の部合計	223,370,926	225,188,721	1,817,795						

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用の約3割を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占め、1割半ばを道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。

## 政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、令和元年度には43.1haとなった。</p> <p>○道路ストック総点検の実施や道路橋の点検等を実施した。また、都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの植栽数の増加に取り組んでいる。</p> <p>○居住環境は過去の住商工が共存していた時代から、再開発事業の進展や民間マンションの建設等により、大きな変化の時期を迎えている。</p>
課題	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を行う必要がある。また、都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。</p> <p>○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障害者・子育て世代などの居住支援要配慮者を含め、だれもが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、花と緑を通して幸せを実感できる街づくりを推進していく。</p> <p>○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図るなど、身近な居住環境の整備を通じて、住みやすく快適な街を形成していく。</p> <p>○下町の風情を残した街並みを生かしながら、開発と調和の取れた居住環境の整備及び魅力ある景観づくりを推進していく。</p>

## 政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	心豊かな区民生活に寄与するために、公園等の整備を促進するとともに、官民協働により花と緑を普及する必要がある。また、街の防災性向上のために、目標とする公園等の面積確保に向けて、積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を推進する。